

自動で消えるから安心？ 「残らない投稿」の注意点



インターネットに投稿した書き込みは、基本的には本人が削除するか、サービスが終了しない限り、インターネット上に残ります。しかし、現在はいくつかの人気サービスで、一定の時間が経つと自動的に見ることができなくなる「インターネット上に残らない投稿」を設定できる機能があります。

「インターネット上に残らない投稿」とは？

よく知られたサービスとして、相手から送られてきた画像や動画が開いて1～10秒で消えるSnapchat（スナップチャット）や、投稿後24時間で自動的に消えるInstagram（インスタグラム）のストーリーズ、LINE（ライン）のストーリーといった機能があります。また、ツイキャスのような動画配信サービスでも配信した内容は基本的にサービス上には保存されません。

トラブルの原因となるよくある誤解

「残らない投稿」は、閲覧時間が限られていることで通常の投稿よりもリアルタイムで繋がっている感覚が強く、より親密なコミュニケーションが取れるように感じられるとともに、「身近な人しか見ないだろう」「問題があっても勝手に消えるから」といった油断を生む原因になりかねません。「残らない投稿」であっても、次のような特性があることを理解しておく必要があります。

- ・スクリーンショットや専用のアプリによって保存が可能である
- ・動画であっても簡単に保存が可能である
- ・他人に保存されたデータは回収することができない

つまり「残らない投稿」は、通常の投稿よりも安全のように見えますが、インターネット上の特性、危険性はさほど変わらないということです。



LINEの「送信取消」について

LINEのトークでは、送信したメッセージを24時間以内であれば削除することができる「送信取消」という機能があります。これによって送り間違えたメッセージなどを取り消すことができます。しかし、取り消す前に相手が見た、スクリーンショットなどで保存した場合は、その相手の行為を取り消すことはできないため、送ったこと自体を取り消すことにはなりません。

指導の要点

今年に入ってから発生した、不適切な投稿が原因で起った未成年の炎上事案の多くや、女子中学生が自らの裸の画像を投稿してトラブルになった事例は、この「インターネット上に残らない投稿」が起因となっています。トラブルを未然に防ぐためには、「残らない投稿」であってもスクリーンショットなどで簡単に保存することができること、通常の投稿と同様に知らない人も見ることが可能なことなど、インターネットの特性を子どもたちに伝えましょう。